

「生成 AI についての公開質問状」へのご回答

立憲民主党

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先日ご送付いただきました公開質問状につきまして、以下の通りご回答申し上げます。

ご査収の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

記

①権利者に無断で生成される音声/映像/画像をどう思いますか

政治家も、演説する映像や音声を改変され、言ってもいないことをさも言っているかのようなフェイク画像、フェイク映像が拡散される被害が実際に発生しており、権利者に無断で、かつ事実と異なる音声や映像、画像が生成され、拡散されることは問題があると考えます。

②無断学習を可能にする現状の著作権法の改正は必要だと考えますか

文化庁は今年2月、AIの無断学習に一定の歯止めをかける素案をまとめ、特定のクリエイターの創作的表現を意図的に出力させる目的でAIに学習させる場合には許諾が必要とする考え方を示しましたが、こうした案も含め、無断学習に対して何ら歯止めをかける術のない現状は、法改正も視野に、何らかの改善を図るべきと考えます。

③生成による権利侵害に対応する法整備は必要だと考えますか

立憲民主党は、AIの利活用にあたっては規制とイノベーションのバランスが重要であり、著作権や個人情報の侵害、誤情報の拡散、監視や差別につながるものがないよう倫理的な考慮や技術的な対策を講じつつ、社会的な規制のルール作りを進めるべきとしています。生成による権利侵害に対応する法整備についても、この社会的な規制のルール作りの一環として検討されるべきと考えます。

以上